

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	企画調整事務		コード	16501
2 担当部課	部等	企画政策部	課等	企画課
	作成者	清水 亮		
3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなでつくる、確かな未来を拓くまち	
		政策	市政運営の推進	施策 その他
		予算科目	企画事務費	業務委託 なし（直営）
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助 なし
		根拠法令	なし	

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要（簡潔に）	第5次岡谷市総合計画を推進するため、実施計画の策定や主要施策等の庁内調整などを行う。	
目的	対象者	職員
	意図	行政サービスの質の向上等に向け各種事業の計画立案を的確に行えるようにする。

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
	<p>1. 実施計画策定事務－計画的な市政運営を進めるため、第5次岡谷市総合計画の前期基本計画をベースとして、令和2年度～令和4年度を計画期間とする実施計画を作成した。</p> <p>2. 主要事業進行管理事務－岡谷市主要事務事業進行管理規程に基づき、事務事業の進行過程を把握し、行政の効率的な執行を確保するため、13事業を指定事務事業として、事業の進行管理を行った。</p> <p>3. 庁内調整事務－岡谷市行政管理委員会規則により市長の意思決定を補完する内部機関として、行政管理委員会を開催した。また、事務事業の円滑な執行と課題解決に向けて庁内を調整するため、庁内会議を開催した。</p>	
前年度の課題への対応	<p>1. 事業の選択と集中 喫緊の課題に対して、財政状況を勘案するとともに優先すべき事業の選択を行った。</p> <p>2. 課題と論点の整理、協議事項・決定事項の明確化。 事前に情報を共有することで、会議等の効率化を図った。</p>	

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	1,344,950	2,170,613	2,294,203	2,199,000
経常経費	1,220,738	2,032,568	2,086,331	2,199,000
臨時的経費	124,212	138,045	207,872	0
* 臨時的経費の説明	大学進学資金等利子補給金、就業移住等促進支援事業費			
② 人件費	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000
正規職員の人数(人)	1.90	1.90	1.90	1.90
③ 合計コスト(①+②)	16,544,950	17,370,613	17,494,203	17,399,000
前年度比		105.0%	100.7%	99.5%
財源内訳	16,544,950	17,370,613	17,490,393	17,399,000
一般財源				
特定財源	0	0	3,810	0
* 特定財源の説明	資料等複写代			
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
信毎セミナー負担金	件数	1	1	—	—
	金額	48,000	48,000	—	—
平和首長会議負担金	件数	1	1	1	1
	金額	2,000	2,000	2,000	2,000
岡谷リサーチお試し 宿泊事業補助金	件数	0	0	2	—
	金額	0	0	31,340	—
大学等進学資金 利子補給金	件数	23	26	38	—
	金額	124,212	138,045	176,532	—
就業移住等促進支援 事業補助金	件数	—	—	0	—
	金額	—	—	0	—
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	174,212	188,045	209,872	2,000
	割合	12.95%	8.66%	9.15%	0.09%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課 題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	①事業の選択と集中 ②効率的な事業構築と課題解決
改 善 方 法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	①財政課、行政管理課等と連携しながらメリハリのある予算編成を行う。 ②日頃から事業課等へ足を運び情報を共有する。
改善開始時期	R2.4~

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	---	--